

平成24年度「人生の達人セミナー」が

開催されました

11月14日（水）、平成24年度の「人生の達人セミナー」が開催されました。このセミナーは、本県にゆかりの深い人生の先輩から、経験をふまえた実社会のきびしさなどのお話をいただくことで、生徒に21世紀をたくましく生き抜く力を身につけさせるとともに、生徒の人生観や倫理観を育むことをめざしたものです。

今年は、レストラン本陣代表取締役 大塚征弘 様をお迎えし、「今、生きる」と題し、お話をいただきました。



お父様が戦死をされ、小学校6年生の時から牛乳配達を始め、レストランの仕事に入るまでの苦難の時代。また、レストランを開業されてからも仕事がうまくいかず、一度は死を考えられた厳しい経営の世界。しかし、そこから立ち直り二度とあの思いだけはしたくないという固い決意から、どんな困難があっても一日も休まずひとつずつ困難を解決していこうと毎日自分に問いかけながら、今日まで頑張ってきた日々。

これまでの、人生を振り返られながら、生徒に多くの示唆深いお話をいただきました。

これからの社会は一人の人間を幸せにするものでなければならない。人と人が励まし合いながら手をつないで生きていくことが大切になる。あたたかい心を持って生きていこう。

自分も失敗の繰り返しだったが、たくさんの友達が支えになった。高校時代は生涯の友を作る最後のチャンス。いつでも何でも相談できる友人を必ず一人は作ろう。

何か一つに頑張ってみよう。努力することがやがて喜びに変わる。努力することが楽しいと思える時がきっと来る。

熱のこもった大塚様のお話ぶりに、生徒も真剣な面持ちで聞き入っていました。一人ひとりの生徒に対し、これからの高校生活、更にはこれからの長い人生をどのような心持ち

で過ごすべきか、人生の先輩から大きな励ましと助言をいただきました。

大塚様、心揺さぶる素晴らしいお話をありがとうございました。



以下に、当日の生徒の感想を紹介します。

大塚先生のお話を聞いて、「今、生きる」ということは、前へ前へ進んでいくことだと思います。先生は、今までに大変な体験をしていることを聞きました。私は高校生になって2年がたちます。1年生の時にアルバイトをしていたけれど、すぐにやめてしまうことがありました。でも、このままでは社会に通用しなくなることが怖くなる毎日でした。今、生きるには負けずに前に進んでいくことを学び、今も新しいアルバイトでいやなことがあっても、くじけずに少しずつ前に進んでいます。

先生のお話で、目の前にあることを少しずつ片付けて前に進んでいけば大丈夫。あきらめずにいることが大事だということを学びました。

私も、これから社会の中で、負けずに進んでいき、努力を喜びに変えられるようにがんばりたいです。(2年生女子)

今日の大塚先生のお話を聞いて、人生はチャレンジ、すなわち挫折から立ち上がることの連続なのだと思います。大なり小なりあれど、やろうと思ったこと、やらなければならないことは、日々生活する中でたくさんあります。その事に努力しやりとげることで、日々の充実感が生まれるのだと知り、考えさせられました。

私にも大きな挫折があり、それをこの高校生活で乗り越えられたからこそ、昔より自信をつけることができました。それが積み重なることで「私」を作っていくのだと思うと、今まで以上に毎日を大切に過ごしていきたいと思いました。

大切な友達をより大事に、みんなで幸せになっていけるよう心がけ、努力していきたいです。本日はありがとうございました。(3年生女子)